

こんな活動やっています

捕獲+利用=野生動物との共生 ワイルド文化系サークル

～滋賀県立大学 狩猟部～

滋賀県の森林で特に頭を悩まされているのは、増えすぎたニホンジカです。立木の皮を剥いでしまったり、せつかく植えた苗木を食べてしまったり…。狩猟者の高齢化も進んでおり、狩猟者の世代交代も課題となっています。

ところが先般、当事務所の狩猟免許窓口、若者の訪問がありました。滋賀県立大学（彦根市八坂町）に「狩猟部」なるサークルがあるとのこと。

「狩猟部」は、海外での経験から狩猟に興味を持った久保田さんが平山准教授



左から、久保田部長・平山准教授（顧問）・山中副部長

「箱わな」にイノシシが2頭かかった様子（竜王町にて）



（応用動物管理学

研究室）と創設した

サークルです。中心メンバーは8～9名で、女性も3名おられるとのこと！彦根市や多賀町を中心に地元狩猟者の「わな」設置や見回りをお手伝いされています。一方、捕獲した野生動物の利用について学内外で楽しく普及活動されており、ウケも上々のようです。

今後はサークル独自の捕獲や食肉等のさらなる利用を図っていきたいということで、暗い問題として捉えがちな野生獣の捕獲に前向きに楽しく取り組む若者たちを、頼もしく感じました。（福井）

この人に注目！！

地域の林業を支える苗木生産

苗木生産者

吉村みさ江さん・育三さん

人の手で苗木を植え、将来は建築用材などを生産する人工林。滋賀県内の人工林は伐採・利用期を迎えています。森林資源の循環利用には、苗木の植栽が欠かせません。



東近江市山上町（旧永源寺町）の吉村みさ江さん・育三さん夫妻は、山に植えるスギやヒノキの苗木を生産されています。もともと米や梅を生産する農家でしたが、昭和52年頃から苗木の生産も始められました。育三さんは大工の仕事もされていて、「ヒノキの柱など、木を使うばかりではなく、苗木の生産をしよう」と思われたのがきっかけだそうです。

春に蒔いたヒノキや少花粉スギの種子から芽が出ると、畝にびっしり生えた芽を守るため、ピンセットで雑草を取り除きます。種を蒔いてから一年後、元気

の良い苗木を選んで別の畝に植え替えます。もう一度夏を越すと、出荷可能な苗木になります。

日照りや根切り虫（コガネムシの幼虫）による被害で苗木が弱ることもありますが、「自然が相手だから、腹はたたない。コガネムシも生きていかないといけないしね」とのこと。お二人の大きな笑顔が印象的です。

苗木を買いに来た人が「去年の苗、山で元気に育っているよ」と言ってくれたり、近くの山に植えられた苗木が、柱が採れるくらいに成長しているのを見るのが嬉しいそうです。

これからも、吉村さんご夫妻が愛情いっぱい育てられた苗木が、滋賀県の山々に植えられていくことでしょう。

（北村）



苗畑ですくすく育つヒノキの苗木

綿向生産森林組合が「森林認証」を取得しました



綿向生産森林組合の所有林

綿向生産森林組合（日野町村井）は、平成29年12月1日に一般社団法人「緑の循環認証会議（S G E C）」の森林認証（FM認証）を受けました。

県内では2番目にFM認証された事業体です。違法伐採で生産された木材とはっきり区別するため、適切に森林管理が行われ、生産された木材であることを中立的な第三者が証明（認証）する「森林認証」を取得する動きが注目されています。

森林認証には次の2種類があります。

1 「FM（森林管理）認証」

適切な森林管理が行われている等を第三者機関が審査し認証する制度

2 「C o C（加工流通過程の管理）認証」

FM認証された森林から生産された森林認証材が非認証材と混合しないよう、各工場等における木材及び木材製品の分別管理体制を第三者機関が審査し、認証する制度

認証に当たっては森林の管理方針、生物多様性の保全、安定的経営、森林保護、法令遵守など多くの項目について審査があります。

今後、認証材の流通量が増加すると、「健全な森林」や「健全な森林経営に基づいた木材」への理解が広がることが期待されます。（安福）



そうせいじゅ

早生樹の適応性を検証

植栽したスギ・ヒノキが収穫期を迎えるにあたり、確実な更新を進めることが課題になっています。このような中、従来のスギ・ヒノキと比べ初期の樹高成長量が大きく、短伐期（20年程度）で収穫できる「早生樹」が注目されています。

早生樹はもともと暖地性の樹種です。冬期に積雪のある当地域への導入を検討するに当たり、適応性を調査するために試験植栽を行いました。

試験地は、日野町熊野に設置しました。早生樹のうち建築材として利用できるコウヨウザンとセンダンを植栽し、比較対照用としてスギを植栽しました。シカの食害を防止するため、植栽地を獣害防護柵で囲いました。

コウヨウザンは漢字では『広葉杉』と表記され、スギの仲間の常緑針葉樹です。中国の中～南部、台湾に分布しています。センダンは、センダン科の落葉広葉樹で、暖帯性の在来樹種です。材はキリやケヤキに似て木目が美しく、家具材や板材に利用されています。

今後は植栽木の樹高、根元径、雪害、病虫害の発生状況等のデータを収集し、当地域の気候風土への適応性の調査を進めるほか、センダンについては通直な材に仕立てるための「芽かき」を実施し検証していきます。

（堺）

コウヨウザン苗（手前）、
センダン苗（後ピンク
テープ）、スギ苗（手元）

